

「実験・実習技術研究会 in 神戸」参加報告

原 祐一

工学系技術支援室 情報通信技術系

はじめに

3月14日（水）～15日（木）の期間、神戸大学で「実験・実習技術研究会」が開催され、聴講に行きましたので、参加報告を下記にします。

1. 「実験・実習技術研究会 in 神戸」の開催目的

技術職員が、日常業務で携わっているものづくりを含む「実験・実習」、「地域貢献」、「安全衛生」等に関する広範囲な技術的教育研究支援活動について発表する研究会です。発表内容は、通常の学会とは異なり、日常業務から生まれた創意工夫や失敗談も重視し、技術職員の技術力向上と交流を図ることを目的にしています。

～神戸大学ホームページより抜粋～

2. 開催分野

「実験・実習技術分野」「地域貢献技術分野」「安全衛生技術分野」と大きな枠組みの中で、「実験・実習技術分野」はさらに下記4つに分類されていた。

- A) 情報・電気系
- B) 機械系
- C) 建築・土木・農学系
- D) 化学・医学・理学系

3. スケジュール

表1. スケジュール

【第1日目】平成24年3月14日

【第2日目】編成24年3月15日

時間	プログラム	時間	プログラム
11:00 ～	受付	8:30 ～	受付
13:00 ～	閉会式	8:50 ～ 10:10	セッションⅡ
13:00 ～ 13:10	学長挨拶 他	10:20 ～ 11:40	セッションⅢ
13:10 ～ 13:50	特別講演	12:40 ～ 14:00	セッションⅣ
13:50 ～ 14:10	時期開催案内	14:10 ～ 15:10	セッションⅤ
14:10 ～ 14:15	諸連絡		
14:40 ～ 16:00	セッションⅠ		
16:00 ～ 17:15	ポスターセッション		

4. 特別講演

テーマ：「スーパーコンピュータとバーチャルリアリティによる地磁気研究」

講師：システム情報学研究科 陰山聡教授

タイトルの最初に「スーパーコンピュータ」と入っていたので、最近話題のスパコン「京」の講演が主体かと思ったが、「バーチャルリアリティによる地磁気研究」の話がメインであった。講演内容自体は、次世代型の 3D の話もあり、とても面白い講演であったため、興味深く聞かせて頂いた。

4. セッションを聴講して

実験・実習技術分野の「情報・電気系」をメインに聴講した。

Web アプリケーションの開発をはじめとするインターネットを利用するシステムの発表が多い中で、今回の研究会では、新しい開発分野であるスマートフォンを業務に利用した発表が数点あり、スマートフォンが一般的にも浸透してきたという印象を受けた。

また、実験・実習研究会ということもあり、学生とともに動く機械を作成したという発表もあり、教育機関ならではの業務に携わっている技術職員もいるということに改めて認識した。

(聴講とは直接関係ありませんが、ポスターセッションが行われた神戸大学百年記念館六甲ホールから見える神戸のまちは、とてもきれいでした。)

5. 最後に

情報通信分野だけでも技術職員の業務は多岐にわたると改めて感じた。発表の中には、すぐにでも業務に反映できる技術もあれば、逆に、環境が独特すぎて、反映できない技術もあった。これは、それぞれの環境によってベターである技術が違い、今ある環境で何が最も適している技術かを見分けるスキルを磨く必要があると実感した。

6. 謝辞

今回、該当研究会を開催された神戸大学関係者の皆様、参加する機会を与えて頂いた工学研究科技術部関係者の皆様、その他関係の方々に心よりお礼申し上げます。

以上